

平成 30 年 12 月 27 日掲載

<子供たちに税の使途について考える機会を提供した好事例>

租税キャンプ IN 古代の里キャンプ場

阿蘇法人会（熊本）

<活動対象> 小学生（20 名）

<活動の概要>

- ・阿蘇市内の小学校高学年を対象に、阿蘇市一の宮町の「古代の里キャンプ村」において、変更後の復旧も含め、生活の中で税金がどのように役立っているかを知ってもらう為実施。
- ・バスでの移動中に税金で作られた施設や復旧現場を見学しながら、税に関する DVD を観賞。キャンプ場（仮想子供の国）では「税金〇×クイズ」を行い、正解して仮想通貨（お菓子）を獲得した後、身近な話題を盛り込んだ確定申告を体験。
- ・確定申告による納税額が目標額以上になると、税金で公共事業（橋の修復）が行われたものとして、その成果として安全になった池で「ヤマメのつかみ取り」を開催できるとしたもの。

<参考資料>

「租税キャンプ in 古代の里キャンプ村」

<摘要>

特になし

<出典>

平成 30 年度租税教育活動プレゼンテーション（岐阜大会）より

「 租税キャンプ in 古代の里キャンプ村 」

公益社団法人 阿蘇法人会青年部会

阿蘇法人会青年部会では平成29年8月2日（水）地元阿蘇市内の小学生高学年を対象に阿蘇市一の宮町の「古代の里キャンプ場」において、租税教育の一環として、生活の中の税金を知ってもらうため、第1回「阿蘇租税キャンプ IN 古代の里キャンプ村」を開催しました。



当日は「租税キャンプ」の前段として、移動のバスの中では将来を担う小学生に対して、私たちの税金が生活の中でどのように役立っているかということと災害復旧に税金がどのように使われているのか関心を持ってもらうために、税金で作られた様々な施設や地震で壊れたものの復旧現場を車窓から見学しながら説明を受け、さらに税に関するDVD観賞を行いながら予備知識をつけてもらいました。



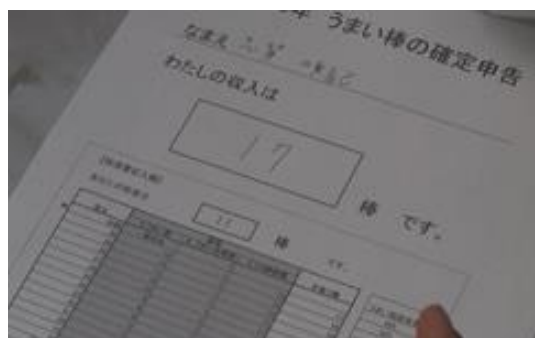
いよいよ、キャンプ場に到着しました。

ここは子供の国という想定であり、ここで使われる通貨は「お菓子」であります。

このあと「税金〇×クイズ」で「お菓子」を獲得し、その後に確定申告を行って納税した「お菓子」が目標額以上であれば、公共事業で壊れた橋の修復を行い、その成果で安全になった池で「ヤマメのつかみ取り」を開催できるというものです。

正解すれば景品が貰えるとあって、子供たちも真剣な表情で臨んでいました。

税金〇×クイズの内容は、子供たちが自分の周りにある仕事や税の使い道をより身近な視点で学べるように、部会員がそれぞれ営んでいる事業の説明とそれに関連する税の問題を出題しました。(ガソリンスタンド=ガソリン税、酒造=酒税等) また、「ひげ税」や「ゲップ税」等のおもしろ税金クイズも取り入れ大いに盛り上がりました。



また、「税金〇×クイズ」の途中では、「1億円のレプリカ」を子供たちに披露したところ、その重さにびっくりした子供や初めて高額の紙幣（レプリカ）を眼の前にし、そっと近づきながら興味津々と眺めたり、反応は様々でした。



その後は「ヤマメのつかみ取り」を行い、お昼には同行した保護者も参加者してバーベキューを行いました。

青年部会員の協力のもと、かなりの低予算で事業を行うことが出来ました。



最後には「税金〇×クイズ」の成績発表があり、上位の高額納税者には記念品が贈られ子供たちも大喜びでした。



このようにして自然に触れ合いながら、税について楽しく学ぶとともに子ども達とも交流することができた貴重な「租税キャンプ」ではなかったかと思えます。今後も継続して取り組んでいきたいと考えています。